

## ピアスの穴あけで出血。 上手にあける注意点は

21歳の女性。病院(整形外科)でピアスの穴をあけてから3カ月経ちますが、ピアスが穴にうまく入りません。何度も入れ直していると出血と汁のようなものが出てきてしまい、耳たぶが痛くなってしまいました。それでもピアスを外すと穴がふさがってしまいそうなのでいつも入れていますが、出血等の後にピアスを入れていても大丈夫でしょうか。

穴は2、3カ月でできると聞きますが、私の場合、まだできていないのでしょうか。穴が小さいために、ピアスが入りにくくなっているのでしょうか。

### A

**ピアスの不調を治す  
専門医も増加。気を  
つけたいファースト  
ピアスの長さや素材**

あけたばかりの穴は単なる傷口にしか過ぎません。感染させないように適切なアフターケアを行って、耳の前後から伸びてきた皮膚で完全に覆われ、ピアスを外してもふさがらない穴が完成します。

ピアスを入れると出血するということは、傷があるわけですから

穴は完成していません。また入れようとして出血するまでつづいていると、炎症や癬癩取縮がおきて穴が狭くなっていきます。狭い穴に無理をしてピアスを出し入れしている、さらにピアスになり、結局ピアスをあきらめて外してしまっても穴の表面だけが塞がって内腔に膿が残り、なかなか治らないことがあります。また調子の悪い傷口の状態の穴に長期間にわたってピアスを着けていると、金属イオンが遊離してアレルギーをおこすこ

### ●あなたもご相談を●

からだ、こころ、健康づくりの悩みについて専門の先生がお答えします。ハガキあるいは封書でお気軽にあなたの悩みをお送りください。なお、ご質問は適宜、整理させていただきます。お名前は出しません。  
●宛先 〒108 東京都港区芝浦2-17-12 第四田町ビル 日本電気健康保険組合「健康相談室」係

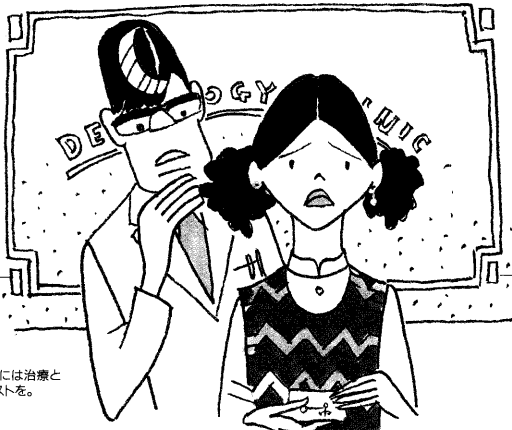
高橋医院院長  
高橋知之先生  
〒150 東京都渋谷区宇田川町12-7 渋谷エメラルドビル6階  
☎(03)3463-1150



ともまれではありません。

軟らかい紐状の医療用シリコン樹脂でピアスがわりに通して膿を絞り出し、抗生物質軟膏を塗布しているピアスができる状態まで完治します。この治療と並行してパッチテストという方法で金属アレルギーの有無も調べておくことと再発予防ができます。最近はこのような治療や検査を行っている病院が増えています。私の診療所で全国の専門医を紹介していますのでお問い合わせください。

これからピアスの穴あけをする人に注意していただきたいことは、ファーストピアスの長さや素材です。病院で使われているファーストピアスには有効軸長(頭か



ピアスの穴あけによる傷の再発予防には治療と並行して金属アレルギーのパッチテストを。

らキヤッチまでの長さ)が6mmのもの8mmのものがあります。また金属アレルギーをおこさない純チタン素材のものもあります。6mmのピアスは子供の頃に穴をあけるアメリカ仕様のもので、子供用のピアスを耳の厚い大人が使用すればトラブルがおきるのは当然です。

ほとんどのピアス皮膚炎はファーストピアスの選択間違えからおきています。穴をあける前に、自分の耳の厚さや体質に合ったファーストピアスであるかどうか必ず確認してください。